

コード No.

提出日：令和 4 年 5 月 20 日

令和 3 年度

「NPOをはじめとする社会課題に取り組む団体における ハラスメントの相談対応窓口設立に向けたプロジェクト」報告書

特定非営利活動法人 mia forza

代表理事 門間尚子

1. プログラムの目的

NPOをはじめとする多様な社会課題に取り組む団体は、支援活動を必要とする当事者のための活動を精力的に行っている半面、財政基盤やマネジメント体制の整備は進んでいるとは言い難く、さらに令和元年末から猛威を奮い続けるCOVID-19は、当事者の暮らしを脅かし、支援活動団体の活動や財政基盤を深刻な影響を与えています。

一方で、活動の対象者（参加者・受益者）や団体の役職員などが加害者・被害者となるハラスメント（パワハラ、セクハラ、性加害など）の事案が明らかになっているところ、2019年6月公布の労働施策総合推進法にもとづき、令和4年4月からは、中小企業においても、ハラスメント防止の社内方針明確化や周知・啓発、苦情などに対する相談体制の整備、被害を受けた労働者へのケアや再発防止などの、ハラスメントに関する雇用管理上の措置が義務付けられることとなっています。しかし、NPOをはじめとする多様な社会課題に取り組む団体におけるハラスメントは、上記法制が想定する雇用関係のみならず、「団体役職員と利用者」や「活動・団体の支援者と団体役職員」といった、雇用関係以外の、支配的と言える関係においても生じています。

そこで弊会では、これらの事態の予防や、事案発生時などの相談対応をはじめとする総合的な支援体制づくりをめざして、これまでどのような事案で、どのような対応が行われたか、また、関係機関による体制づくりに向けて、どのような課題があるのかについて、現状把握の調査を行うことを皮切りに、数年間に及ぶプロジェクトに着手いたしました。

2. 主な活動内容・スケジュール

(1) 現状把握調査

ハラスメント予防及びハラスメント対応経験のあるNPOとNPOにおけるハラスメントに詳しい専門家へヒアリング調査を行った。令和3年中は、フードパントリーなど困窮者支援活動のニーズが急増したため、その対応を優先し、調査設問などを準備。急激なコロナの感染拡大の影響にて、訪問調査をオンラインに変更。令和4年3月末までに、インタビューは5件終了し、追加準備中。調査報告ならびに提案の取りまとめ作業中。

【調査項目案】

- ・具体的な事件があった場合：事件が起きる前と事件の起きた後に、組織としてどのような対応が求められたか？
- ・事件がなかった場合：体制を整備することにした契機、体制を整備した経過、工夫、課題

【調査対象】

ヒアリング実施済み

- ・令和4年1月30日 特定非営利活動法人ビーンズふくしま
(<https://beans-fukushima.or.jp/aboutbeans/harassment/>)
- ・令和4年2月1日 特定非営利活動法人夢職人 (<https://yumeshokunin.org/parent/>)
- ・令和4年2月13日 特定非営利活動法人マドレボニータ
(<https://www.madrebunita.com/aboutus>)
- ・令和4年2月23日 特定非営利活動法人まちづくり学校 傍楽方相談室
(<https://machikou.com/service/hataraki-2/>)
- ・令和4年3月17日 星野美佳さん (社会保険労務士)

依頼中、または、今後依頼予定：

- ・佐藤暁子弁護士 (<https://kotonoha-law.com/lawyer/sato>)
- ・特定非営利活動法人 soar (<https://soar-world.com/20210715info/>)
- ・特定非営利活動法人東京シユーレ (<https://www.shure.or.jp/2021/07/10/news-27/>)
- ・佐藤香代弁護士 (<http://www.lo-taito.com/about/>)
- ・社会福祉法人役員による性暴力・ハラスメント裁判の原告を支える会
(<https://www.fnht.org/>)
- ・須田晶子弁護士 (<http://honesty-lawoffice.com/lawyers/suda>)
- ・日本弁護士連合会

(2) スケジュール (令和4年度予定含む)

令和3年	11月	対象団体選定
	12月	調査依頼開始
令和4年	1月	ヒアリング調査開始
	2月	ヒアリング調査継続
	4月	ヒアリング調査継続
	5月	調査報告及び提案に対する意見聴取
	6月	調査報告および提案に対する意見聴取 経過報告会開催
	7月	人材育成講座・専門家勉強会教材作成
	11月	人材育成講座・専門家勉強会開始
	12月	フォーラム開催
令和5年	1月	相談窓口開設準備

3. 助成を受けた活動の報告（様子がわかる写真等があれば貼付してください）

(1) ヒアリング調査

- ・特定非営利活動法人ビーンズふくしま（令和4年1月30日実施）
法人内にハラスメント窓口を設置。窓口運用にかかる現状・課題及び、今後の運用について伺う。
- ・特定非営利活動法人夢職人（令和4年2月1日実施）
受益者（こども）への危害が起きないように、との観点からから、ボランティア説明会や採用の流れ、入会後の研修会の開催頻度や内容を丁寧にプログラムし、予防に努めている。
- ・特定非営利活動法人マドレボニータ（令和4年2月13日実施）
法人経営方針をめぐる意見の対立から、風通しの良い法人経営への転換について伺う。
- ・特定非営利活動法人まちづくり学校 傍楽方相談室（令和4年2月23日実施）
ハラスメントの観点を取り入れながら、役員改編を行う。ハラスメント勉強会を行いながら「良い組織・良い関係」づくりを目指している。
- ・星野美佳さん（社会保険労務士 令和4年3月17日実施）
雇用関係のない組織におけるハラスメント対策の課題や問題点等について伺う。

(2) 調査報告の取りまとめ

ヒアリング内容とヒアリング先より提供された資料を取りまとめ、報告書を作成。

4. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

※令和4年5月20日現在、まだありません。

5. 今後の課題

(1) ヒアリング調査

- ・ヒアリング依頼先からの返事の滞りから、ハラスメント調査の難しさを実感。
⇒依頼先のハラスメントにおける状況（係争中等）を踏まえた依頼タイミングを検討。
- ・6月の経過報告会までに残り数団体のヒアリングを終える。

(2) 報告書の作成

今後の人材育成・専門家勉強会に活かせる内容の検討。

(3) 連携先の検討

ハラスメント対応窓口設置を見越した、連携先の選定。

6. 収支

(1) 収入

- 助成金；50万円
 - 庭野平和財団様15万円
 - 市川房枝記念財団様35万円

(2) 支出

- ヒアリング・提案意見聴取先への協力金：10万円（@1万円×10件）
→5名分実施済。報告書納品時（22年6月末）支払いのため22年度に繰り越し
- 訪問調査に係る旅費：24万円（@4万円×2人×3ヶ所）
→感染症予防対策のためオンライン対応および22年度に繰り越し
- 調査・報告書執筆担当者日当：30万円（@1万円/日×30日）
→30日分稼働済。報告書納品時（同上）支払いのため22年度に繰り越し
- 報告書作成・印刷費：10万円
→22年4月以降実施のため22年度に繰り越し
- 経過報告会（6月開催）登壇者への謝金：6万円（@2万円×3人）
→22年6月開催のため22年度に繰り越し

以上